



広報うじたわら

9月号 No. 570
2015

目次

contents

関西茶品評会でかぶせ茶「産地賞」 下岡清富さんは玉露で農水大臣賞	08
「マイナンバー」理由があって住民票が 住所地に移せない人は申請を	08
「みらいのためにこたえてね」国勢調査	09
臨時福祉給付金の受付開始	12
9月20日は秋のクリーンキャンペーン	12
この夏、全国や近畿の舞台で輝いた 2人のアスリート	14

【町の位置】北緯34度51分 東経135度51分 海拔118メートル(役場)
 【町の面積】58.16平方キロメートル
 【人のうごき】人口 9,646人(-2) 男 4,809人(+1) 女 4,837人(-3)
 出生 2人 死亡 6人 転入 27人 転出 25人
 世帯数 3,568世帯(+3)
 ※平成27年8月1日現在。()内は前月との比較。

発行・編集：宇治田原町役場総務課 ☎610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10番地 TEL (0774) 88-2250 FAX (0774) 88-3231 印刷：(有)新進堂印刷所 宇治市宇治妙楽9

●町長直通メール nishitani@town.ujitawara.kyoto.jp ●町長直通FAX 88-2011 ●ホームページアドレス http://www.town.ujitawara.kyoto.jp

あなたたちは、
被爆者、戦争体験者から
直接、話を聞ける最後の世代です。

被爆体験朗読ボランティアの小学生への言葉

日本に2発の原子爆弾が落とされて
70回目の夏。
この言葉に込められた
思いと重みを受け止め、
今、いつもより平和について考えてほしい。

特集

戦後70年
つなぐ平和のバトン





戦後70年 つなぐ 平和のバトン

昭和20年8月15日
終戦を迎えた日本。

あれから70年。

戦争を、被爆を

体験した人たちが

年々減っています。

今を生きる私たちが、

知る世代から思いと記憶を直接

受け取ることができる時間は

あと少し。

戦後から今まで宇治田原町で生活

してきた同い年の2人と

被爆地を訪れ思いを託された町内の

小中学生。

また、被爆地で、平和のバトンを

託そうと語り続ける被爆者と

受け取ったバトンを同じ世代や次

の世代に引き継いでいこうとする

青少年たち。

今号で登場する人たちの

「平和のバトン」をあなたに

受け取ってほしい。

そして、家族や友人

子どもたちへとつないでほしい。

今日までずっと宇治田原で暮らしてきた光島政治さんと中辻三郎さん。2人に戦争体験を語っていただきました。同級でもある光島さんと中辻さんは、同じ時期に19歳で入隊。満州へと送られます。それ以後、若い2人は、戦争に翻弄されていきます。人の命が軽んじられた時代。当時を振り返り、今を生きる私たちに向けて、強いメッセージをいただきました。

19歳で出征した 2人の記憶

決死の覚悟でシベリア行
き列車から脱出

昭和20年8月、19歳
で入隊。本来なら

6か月間の教育

を受けて、戦地へと派遣さ

れるのですが、戦況が悪化

していたため、8月の末に

は満州のソ満国境守備隊へ

と送られました。辛い訓練

の日々。毎朝6時に起床し

て7時半には訓練が始まり

ます。対戦車用に手りゅう

弾を投げる訓練やほふく前

進、戦車壕の構築などがそ

の内容です。あまりにも厳

しかったので、お金で雇わ

れていた満州人の兵隊はよ

く逃げ出していました。日

本兵は、お国のためにと

い

う

思

い

が

強

く

逃

げ

出

て

い

ま

し

た

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。



光島政治さん

【みつしま まさじ(89)】 荒木在任

19歳で入隊。満州へ送られた後、憲兵に。終戦後、シベリア抑留行きの列車に乗せられるが、決死の覚悟で逃げる。その際、ハルビン駅で見た、ソ連兵が幼子の目の前で母を連れ去った光景が、今も忘れられないという。

今も思い出すと涙が出る 孫やひ孫に経験させたくない

う思いが強く、誰も逃げ出

そうとはしません。今思う

と、異常な考えと言えます。

その年の12月、上官の命

令で私は憲兵団に所属する

ことになり、憲兵教習隊が

置かれていた新京へ。3か

月間の実

習を終え

て、憲兵

に。そし

て8月15

日の終戦

を迎えま

す。日本

が負けた

となるや満州人たちは、手

の平を返し、日本人を襲い

はじめます。兵士の間では、

ソ連が日本兵を捕まえにく

くという噂が流れていま

し

た。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

中辻三郎さん

【なかつじ さぶろう(90)】 禪定寺在住

19歳で入隊。満州へ送られ国境守備隊へ。決死の任務の命令が下るが、当日、武装解除になり命拾い。3年のシベリア抑留で生き地獄を体験。50年間連れ添った妻が亡くなった1年後、「戦友の多くがどんどん亡くなり伝えていかなければ」と誰にも話さなかった体験を語り始める。

今でも銃を持ったソ連兵に追いかける夢を見ます。起きると、今がいに平和か実感します。人生に何も不足はない。極楽です。今、こんなに幸せなのに70年経っても、つらい経験を思い出すと涙が出る。夢にうなされる。心に傷を残し続ける戦争なんか、絶対したらあかん。

。



シベリア抑留の話をして涙ぐむ中辻さん

それから3年間必死に生き抜き、とうとう日本に帰れることになりました。シベリアは本当に殺風景な土地でした。これに対して、船から見える舞鶴の景色は、絶景としか言えないくらい感動しました。「日本はこんなきれいな国があったんやな」としみじみ感じました。

平和な今も銃持つソ連兵に追われる夢

理由はどうであれ戦争は絶対にあかん。敵だとして

も、その人にも家族がいま

なんていませんからね。日

本の今の平和があるのは、

悲惨な戦争を経験したから

です。私のようなつらい体

験をしたことを覚えている

からです。これらを忘れな

い限り、これからの世代の

子たちが戦争をすることは

ないと、思います。

それぞれ国には思惑が

あり、意見や考え方が違

う。それを力づくで、なん

とかしようと思うと戦争が

起こってしまう。ですから、

そうならないよう平和的に

話し合うことが、言うまで

もなく肝心です。

今でも銃を持ったソ連兵

に追いかける夢を見ま

す。起きると、今がいに

平和か実感します。人生

に何も不足はない。極楽で

す。今、こんなに幸せなの

に70年経っても、つらい経

験を思い出すと涙が出る。

。



先の大戦で、宇治田原には空襲などによる大きな被害はありませんでした。しかし、ここから多くの人が戦地へと送られ、348名もの尊い命が失われました。
←宇治田原からの出征兵士を見送る当時の写真。

性きれい)と言いながら女性たちを森の方へ無理やり連れて行くようになります。女性の中には小さな子どもを連れていた母親もいました。ソ連兵たちは、空に向かって「バーン」と銃を撃ち鳴らし威嚇。恐怖で動けなくなった女性たちを無理やり連れて行きました。その後、彼女たちが帰ってくることはありませんでした。子どもたちの「お母さん、お母さん」と泣き叫ぶ悲しい声は、70年たった今でも忘れることができません。今でも涙が出ます。

この事件のあと私は、列車を運営する満州鉄道の日本人の社員に制服を貸してもらい、社員のふりをして、南行き列車に乗ることができました。列車の中で船具問屋の社員と知り合い、その後、大連にあるその会社で働かせてもらいました。ただ、この間も、憲兵だつたと、いつ密告され、捕まるか分からなかったのです。心が休まる時はなかったです。

そして、昭和23年の3月、日本に帰れました。再び生きて日本の美しい山々を見るのができた、あのときの感動は今でも忘れられません。

孫、ひ孫にさせたくない自分と同じ体験
戦争はただの殺し合いです。人の理性を破壊します。ソ連兵がしたような、ひどいことを日本兵もしていたと思います。戦争は、敵を

殺す、人を殺すことが前提です。この異常な状況下では、人間は善悪の判断や人を思いやる気持ちが薄らいでしまうのです。私には息子、孫、そしてひ孫がいます。この子らに絶対私たちと同じ経験をさせたくありません。人が人でなくなる戦争は、絶対にしてはなりません。「光島さん(丁)」

下された決死の命令
19歳の時に軍に入隊しました。入隊するとすぐに満州のアイグンという地域の

。

■広島平和記念資料館

広島原爆の惨状を後世に伝える施設。国指定の重要文化財である「本館」と、東側の「東館」からなる。本館では広島原爆の人的・物的被害に関する展示が行われている。原爆投下直後の壊滅した広島市街地の縮小模型、熱線て全身の皮膚を焼けただれさせながら炎の中をさまよう被爆者の等身大ジオラマ、被爆死した動員学徒の制服や黒焦げの弁当箱などの遺品が有名。遺品の多くは、肉親の人たちがその安否を気遣って焦土の中を探し求め見つけた。一つひとつに、苦しみ悲しみが込められている。東館には広島市の歴史や原爆投下の歴史的背景が展示（東館は改装のため平成28年春まで閉鎖中）。



■原爆の子の像

多くの千羽鶴が像の元に納められるので、千羽鶴の塔とも呼ばれている。像のモデルとなったのは佐々木禎子さんという女の子。禎子さんは2歳のときに広島で被爆。運動の得意な元気な少女に成長したが、被爆から10年後に突然白血病と診断され入院。闘病中、千羽鶴がお見舞いに贈られたことをきっかけに、「生きたい」という願いを込めて、1人で1300羽以上の折鶴を折ったというエピソードはとて有名。彼女の死後、同級生たちが原爆で亡くなった子どもたちのために慰霊碑をつくらうと募金を集めて、3年後、原爆の子の像が完成しました。金色の折鶴を空に掲げる少女の像は、平和な未来に夢を託している姿だと言われている。



■国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

原子爆弾死没者の尊厳性を銘記し追悼の意を表し、永遠の平和を祈念するための施設。原爆死没者慰霊碑や広島平和記念資料館に隣接。原子爆弾投下により死亡した人々の遺影、被爆者による体験記や証言映像、郷土や原爆、平和に関連する書籍を収蔵し、利用者に公開している。ご遺族からの申し出により、原爆死没者の遺影と名前を登録し、永遠に遺している。登録者は1万人を超えている。多くの原爆死没者の遺影や名前を通して、原爆が、年齢や性別、職業などに関係なく、無差別に多くの命を奪った事実を伝えている。本町の平和体験学習の朗読会は同館で3人のボランティアにより行われる。



原爆のこわざを知って
原爆は、たくさんの家族を失います。私にも大切な家族があります。突然失ってしまふことを考え、原爆や戦争を許せない気持ちでいっぱいになります。平和という文字は戦争を絶対にしないことを約束しているように感じます。原爆や戦争の悲しみや苦しみを知ることができました。二度と原爆が使われないために、みんなにその怖さや被爆者の苦しさを知ってもらいたいです。私も、学習したことを友だちや家族に伝えたいです。



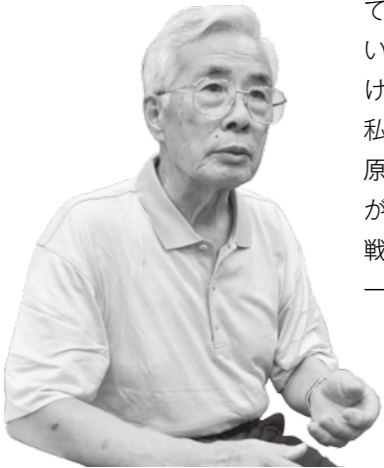
田中詩乃
宇治田原小5年

Interview Itou Takahiro

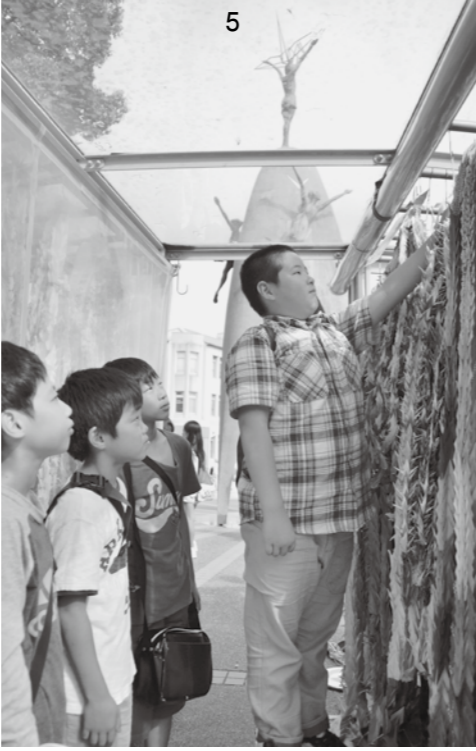
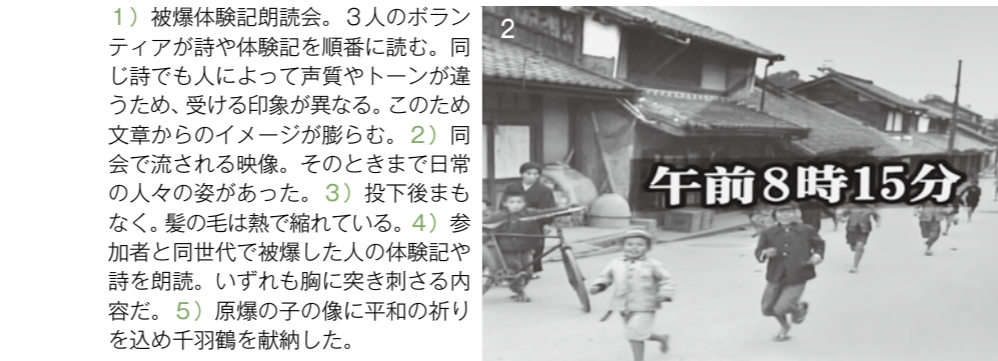
体験者として伝えられる最後の世代へ 今、自分のやらにゃいけんこと

11年前、退職を機に戦争の記憶を風化させないため自分にできることはないかと考え、ボランティアを始めました。私自身、6歳のとき住んでいた岡山で大空襲に会い、住む家が焼失。当時は、食べ物はもちろん、靴もありません。実際に戦争の辛さを体験した私ただだからこそ「自分のやらにゃいけんこと、語らにゃいけんことはこれだ」と思い、活動しています。しかし、あと何年続けていけるか分かりません。一緒にボランティアしている河合さんは被爆者であり、私は戦争体験者。知る私たちが直接伝えられるのは、今の小中学生が最後の世代です。私たちが経験したことを二度と起こさないためにも、人が人を殺す戦争が愚かだ、平和が素晴らしいものかを、若い人たちにわかってもらい、平和のバトンを次の世代に渡してほしい。

聞いている人にどうしたら本当に分かってもらえるか。考えながら朗読をしています。小学生と中学生に伝えるのとは違います。相手の視点に立って伝えるよう心がけています。「戦争は絶対にするな」。これが私の一番伝えたいことです。争いがなければ原爆は落ちません。私は「戦争を知らない人が戦争を語るのはおかしい」と思っています。戦後70年を迎えるこの機に、皆さんも、もう一度戦争や平和について考えてみてください。



広島原爆死没者追悼平和祈念館
朗読ボランティア
伊藤隆弘さん (76)



「げんしばくだん」
坂本はつみ（当時小学3年）
げんしばくだんが おちると
ひるが よるになって
ひとが おばけになる
朗読会で音読した原爆詩より
（出典＝原子雲の下より）

気がついた平和の大切さ
「よしお兄ちゃん、原爆で死んだあくる日お母ちゃんも毎日毎日探したが、着物もかばも弁当箱も骨もなかった。お母ちゃんはおなげ死んだのと泣いて泣いた。ぼくは原子爆弾が大嫌いだ」。心に残った詩です。私の兄とよしお兄ちゃんを重ねると詩を書いた人の苦しみが伝わってきます。今の平和を守るためには、戦争や原爆の悲しみや苦しみを忘れないことです。私も体験を多くの人に伝えていきたいです。



勝井明日美
宇治田原小5年

平和について
やけどで顔が真っ黒になって皮ふがめくれ、家族を亡くしたという体験記を聞きました。とてもおそろしく、つらい体験です。「8時15分に広島は終わった」というDVDを観ました。原爆が落とされ、まちは一瞬にして何もかもなくなりました。生きのびた人も放射線の被害で苦しみ続けています。こんなひびき続けたことがあったことを、みんなに知ってもらい、二度と戦争が起きないように、平和な世界をつくってほしいです。



畑 ゆら
宇治田原小6年

平和と広島
原爆が落とされ、熱で亡くなった人、放射線で亡くなった人、物の下じきになって亡くなった人。罪のない人たちがです。「今はそんな心配はない」。そうではないんです。今でも原子爆弾はつくられており、いつ原子爆弾が落とされてもおかしくありません。私が思う理想の世界は、各国が信じ合ひ、お互い協力し合える、そんな世界です。戦争は、やってはならないことを、世界中の人に知ってほしいです。



松田久奈野
宇治田原小5年

平和の勉強をして
原子爆弾が落とされ半径2kmが何も無い状態になりました。熱線や爆風、放射線で約14万人の人が亡くなりました。それをぼくは、平和ではないと考えました。ぼくは、身近なところで平和を考えてみました。友だちと意見や考え方が違ってけんかをする場合があります。そういうときは、話し合っ、お互いの気持ちを理解しあうことが、大事だと思います。友だちや家族に広島平和学習で学んだことを伝えていきたいです。



緑川朋大
宇治田原小5年

広島に行つて思つたこと
広島に行つて思つたことは絶対に戦争をしては、いけないということ。戦争をするとき多くの人が死にます。原爆が落とされると、もつとたくさんの方が死にます。死ななくても、そのとき被爆した人も、あとからその場所に行つた人も、放射線を浴びて障がいや苦しみます。今は、水も食料も簡単に手に入らなくて、戦争中は手に入らず、死んでしまふ人もいました。死ぬ人や苦しむ人がでる戦争は、してはいけないと思います。



小西のどか
田原小6年

戦争がなかったら
原爆ドームを見て、夢にできそうなくらいよかった。原爆ドームは、想像していたよりもひどく、胸がはりさけそうなくらいこわく感じました。原爆が落ちたときは食べ物がありませんでした。今は食べられることが当たり前と思っているのですが、残したりする世の中です。それは間違っているかと、改めて考えさせられました。二度と戦争が起きないことを願って、学んだことを、まずは家族から伝えていきたいと思っています。



森本莉生
田原小6年

平和体験を通じて思つたこと
午前8時15分、原爆が落ちて、すべてが止まりました。広島では14万人が亡くなりました。赤ちゃんや小さな子どもが黒くなって亡くなっているのを見たときは、とても悲しかったです。私の家族も同じ目にあつたらと思うと心が苦しくなりました。平和な世界にするためには、自分だけでなく、他のことを考えるのではなく、他人のことを考え正しい行動をすることが大事だと思います。この行動が少しずつ増えていくと、戦争にならないのではないかと思います。



山崎のと愛
宇治田原小6年

70年前のひげ
原爆が落ちるまで、広島はまちはにぎやかでした。一発の原子爆弾でまちは一瞬にして破壊されました。資料館で、8時15分まで止まった時計、焼けこげた学生服を見て、当時の様子が目にかきました。原爆が一つ落ちるだけで14万人という人が苦しんで死んでいく。なんて恐ろしいのだろうと思っていました。人々の命や心をうばう戦争は絶対にしてはいけないと強く思いました。原爆が世界中から一日も早く無くなれば良いと願っています。



浦谷結衣
宇治田原小5年

被爆70年目の夏
広島はとても暑く、汗がだらだら出ました。その暑い70年前の夏、原子爆弾は多くの関係のない人たちの命をうばいました。被爆体験者の話を聞いたとき、ぼくの家族や友だちが目の前で亡くなっていく場面を想像して恐ろしくなりました。最近、被爆者の高齢化が進んでいます。そして、平和への思いがうすれているように思います。ぼくは、みんなに戦争についてもっと知ってもらい、強く平和を願ってほしいです。



熊内亮太
田原小6年

恐ろしい原子爆弾
原爆ドームは骨組だけが残されていました。原子爆弾の恐ろしさを知りました。放射線や熱線、爆風で多くの人々が亡くなりました。こんな悲しいことをなくすために、絶対に核兵器をつくらないことだと思いました。被爆体験者の方に、私たちが実際に話せるのは君たちの世代が最後なので、みんなに伝えていってほしいと言われました。だから広島で起こった出来事をみんなに伝えていけたらなと思っています。



辰己孝太郎
田原小6年

広島へ行って
広島に原爆が落とされたのは、8月6日の午前8時15分。落とされた瞬間、あたりは真っ暗になり、熱線や放射線が半径2kmまで広がったそうです。被爆し放射線を受けた方は白血病やケロイドになりました。生き残った被爆者の方たちの苦しみや悲しみ、平和への願いが体験記に記されています。私は、被爆者の方の「もう二度と原爆を落とさないでほしい」という言葉が心に残りました。原爆はなくなれば良いと思います。



尾谷梨凜花
宇治田原小6年

広島へ行って
心に残つたのは、原爆が戦場でないところに落とされた、関係のない人まで被害にあつたということです。後にも、放射線を浴びていなくなつて、亡くなる人がいました。今も世界で戦争が起こつていて、多くの方が犠牲になっています。核兵器がまだ世界に残っています。ぼくたちにできることは、広島の出発の恐ろしさを伝えて、二度と同じことを起こさせないことです。そして、今の平和が大切だと思つことも大事です。



堀口泰生
田原小5年

小学生13人がヒロシマへ 体験者から 託された思い

7月21・22日の広島平和体験学習に小学生13人が参加。被爆体験記や原爆詩の朗読、平和記念資料館での学習を通じて命の大切さや平和の尊さを学びました。

被爆体験記朗読会で、ボランティアの伊藤隆弘さんが小学生に贈った言葉「あなたたちは、被爆や戦争の体験者から直接、話を聞ける最後の世代です」。

メッセージを託された小学生が、戦争や平和について自分の言葉で綴った作文。その思いや考えに触れ、一緒に未来を考えていただきたいと思っています。

*作文は一部を抜粋しています（敬称略）。



【特集】
戦後70年
つなぐ平和のバトン

被爆地の実相を学ぶ広島平和体験学習。平成4年から始まり、これまでに延べ260人が参加。被爆を体験した人の体験詩や体験記を朗読し、平和記念資料館や原爆ドームを見学。原爆の子の像や動員学徒慰霊塔に、住民が折った鶴を、祈りを込めて献納している。

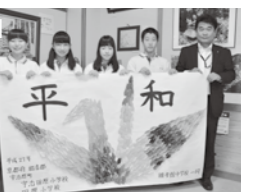
全国の青少年が被爆の実相や平和の尊さを学び、交流する長崎市ピースフォーラム。進行するピースボランティアは中高生、大学生が中心。今年は全国から約600人もの青少年が集った。



【特集】
戦後70年
つなぐ平和のバトン

知る世代から青少年へ そして青少年から青少年へ ナガサキでつながる 平和のバトン

全国の小・中・高校生、大学生が、交流しながら平和や命の尊さについて学ぶ「青少年ピースフォーラム」が長崎市で8月8・9日に開催されました。本町からは、維孝館中学校3年生4人が平和友好特使として派遣されました。



1) 桜馬場中学校に贈る平和メッセージ作品を西谷町長に披露する特使（任命式）。2) 爆心地付近の下の川。被爆当時は水を飲み、息絶えた人であふれた。川には死体から出る油が浮いていた。3) 被爆した浦上天主堂の柱が残されている。爆風によるずれがある。4) 桜馬場中学校の平和集会。同校では平和学習を1年調べる「2年「深める」3年「発信する」」をテーマに行う。その成果を発表した。5) 11時2分に黙祷。市内中のサイレンが鳴り響いた。



6) 長崎平和祈念像【今号の表紙】。垂直に高く掲げた右手は原爆の脅威を、水平に伸ばしている。7) あの日から70回目の8月9日、被爆者や遺族をはじめ、全国や世界から訪れた多くの人々が、祈念像の前で手を合わせ、追悼と祈りを捧げた。



被爆体験講話
中村一俊さん (82)

当時11歳。爆心地から1.5kmの農家で被爆。同居家族6人を一瞬で亡くした。体の変調に苦しみながらも、若い人へのメッセージを送り続ける。

その日、母親の手伝いで家から北東の農家へ出かけていた。そこで小学生6年生の子と遊んでいた。その子が「もう少し遊ばんね」と引き留めてきた。母は先に、小さい背中にお水を背負って帰っていた。今でもこの光景が目につく。その子と水をくみに行ったあと、家のあがりまちに腰かけた瞬間、ピカッと光り、大地が揺れた。頭の中が真っ白になり意識を失った。息苦しくて目覚めた。何が起ったのか分からない。家の下敷きになったが、かろうじて脱出できた。

「核兵器を無くす」という声をあげられる人になってほしい

ろへ。派手な布団だったのが印象に残っている。近くとハエが煙のように舞った。死んでいた。今でも後悔している。今も夢にでてくる。戦争は体と心に傷を残し続ける。

母を探すも見つからず、避難する防空壕を探した。3か所回ったがどこも満員。けが人はかりで、うめき声。子どもの泣き声がしていた。だが次の日、静かになっていった。自宅では姉の子2人と私の弟2人が円になって死んでいた。4人で遊んでいたんだらう。手も足も焼けていた。3日間、母を探



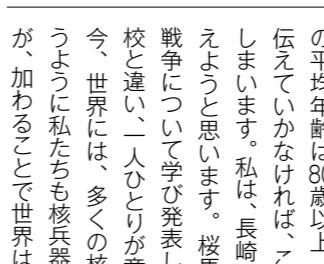
正しい声をあげられる人になりたい

どうか長崎を最後の被爆地にしてほしい。しかし、核兵器が今も世界に1万5千発もあります。広島や長崎の事実を世界の人も知ってほしい。今も長崎市内の学校では、毎月9日、11時2分に黙祷されています。小学校から原爆や平和の学習があり、桜馬場中学校の生徒は、自らも語り部としてホームページや絵本で伝えていきます。一方、同年生の宇治田原の私たちはどうだろう。社会の授業で学んだことしか知らないのではないだろうか。意識の差が恥ずかしく思えました。桜馬場中学校の平和集会は力があり重みがありました。8月9日の長崎には世界各地から来訪者があり、関心を持ってもらえていることはうれしい。戦争体験者の話を今うちに、もっと聞きたいです。平和であることに感謝し、微力ながら私も今回学んで、議論したことを多くの人に伝え、正しい声をあげられる人になりたいです。



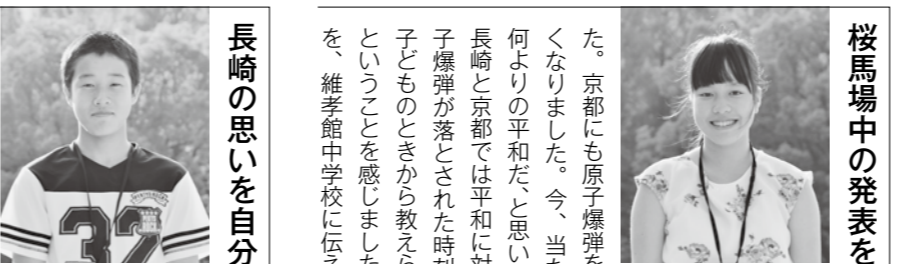
恐ろしい出来事伝えていかなければ

中村さんが「原爆が落ちたとき、何が伝わって見えなかったものを後の世代に伝えていかなければ、この恐ろしい出来事は「過去」となり、風化してしまします。私は、長崎で学び、感じたことをできるだけ多くの人に伝えようと思います。桜馬場中学校では全校生徒が、様々な視点から、戦争について学び発表していました。平和や原爆について、私たちの学校と違い、二人ひとりが意見や意志をしっかり持っていると感じました。今、世界には、多くの核兵器があります。しかし、被爆者の方々が願うように私たちも核兵器ゼロを目指していきたいと思えます。多くの人に加わることで世界は平和になり、戦争がなくなると信じています。



桜馬場中の発表を維中に伝えていく

実際の戦争を知らない私は、戦争の恐ろしさや、平和の大切さを、それほど考えたことはありません。しかし、被爆された中村さんの話を聞いて、もう二度と悲惨な戦争をくり返さないという思いが、私の心の中に深く残りました。京都にも原爆を落とすという計画があったこと知って、残りました。今、当たり前のことが当たり前にできていることが、何よりの平和だと思いました。桜馬場中学校の平和集会に参加して、長崎と京都では平和に対する思いが違うことに驚きました。私は、原爆が落ちてきた時刻さえ知りませんでした。長崎で11時2分は、子どもときから教わられます。長崎は特に平和に対する思いが強いということを感じました。私は桜馬場中学校の皆さんが発表した内容を、維孝館中学校に伝えなければならぬと思います。



長崎の思いを自分の子どもにも話したい

これまで、核兵器や戦争は、自分には関係のないことだと思ってきました。浦上天主堂の像が、原爆のせいで首がなかったりして、そのすさまじさを感じ、印象に残っています。桜馬場中学校では毎月、11時2分に黙とうをします。さらにある学校では毎日11時2分に授業中であっても爆心地を向いて黙祷をするそうです。長崎と京都の平和への気持ちの違いを肌で感じました。長崎は8月9日を忘れないという思いが強いのです。ピースフォーラムで感じたことを家族や友達に、そして大人になって結婚し自分の子どもにも話したいと思えます。それが長崎の思いだからです。

そして未来へ

長崎ピースボランティアの木下雅人さんは、被爆3世です。生前の祖父父母から当時の話を聞かなかったことを今、後悔しています。一方で、中辻三郎さんは、戦争やシベリヤ抑留の体験を孫にするのは抵抗があると言います。それでも、勇気を持って、語ってくださいました。

知る世代の皆さんは、子や孫、その子たちのために、愛情と勇気を持って伝えてください。その手で口で直接「平和のバトン」を渡してください。戦時中、必死で自分の命をつないでこられた皆さんの話は、私たちに与えて、明日を生きる力にもなるはずです。ただ、辛い思い出したくない話を、無理強いすることはできません。しかし、もし知らない世代が、話してほしいとお願ひしたららば、どうか、未来のために、話していただけないでしょうか。必ず、その思いは、また次の世代へと引き継がれます。

そして、私たち戦争を知らない世代は、知る世代から記憶と思いをじかに聞ける今を大切にしなければなりません。ピースフォーラムで一昨年、被爆体験講話をした八木道子さんの言葉。「今日、最後の被爆者が亡くなりました」というニュースが流れる日が、間もなくきます。そのとき後悔しても遅いのです。

被爆地を知ることとは未来を考えること。戦争の惨禍を語り継ぐことは、平和を尊ぶこと。今回、登壇した方の中で、一人でも、その言葉一つでも、あなたの心に響いたならば、そのバトンを受け取り、未来へと走り出しててください。それが、「平和のバトン」をつなぐということなのだ。

相手の考えを知ることも平和への一歩。そして、どうすればいいか考え続けます

宇治田原町の平和事業に携わり、これまで深く考えなかった伝える側の視点で考えることができました。広島平和体験学習に参加した子どもたちが、どう思い、感じたか。これも今まで知らずしなかったことです。相手の考えを知ることも平和への一歩ではないでしょうか。

世界を平和にするためにはどうしたらいいか。スケールが大きい話です。正直、ピンときません。では「自分の周りを平和にするにはどうしたらいいか」ならどうでしょうか。なんとなくわかるような気がします。自分の手の届く範囲から争いを取り除いていけばいいと思います。しかしその範囲を広げようとするほど色々な人と干渉し合い、困難になっていきます。互いの利害が一致せず衝突が起こることもあるかもしれません。結局、どうしていくことが正解なのかはわかりません。ただ一つ言えることがあります。決して考えることをやめないでください。何事もこれに尽きません。わからないからといって投げ出しては、そこから先へは進むことはできません。私もいつの日かその場所へとたどり着けるよう、決して足を止めることなく歩んでいきたいと思っています。

Saitou Kazuki
京都府立大学公共政策学部3回生。インターンシップで宇治田原町へ。平和事業や「町民の怒」平和記事作成に携わる。長崎出身で桜馬場中学校の卒業生。

■浦上天主堂

爆心地から北東約500mに位置。東洋一の規模と言われていた赤レンガづくりの浦上天主堂は原爆により壊滅した。この地区に住んでいた信徒約12,000人のうち約8,500人が死亡したと言われている。被爆した当時の聖堂の南側遺壁の一部が、現在、爆心地に移築されている。また、爆風で吹き飛んだ鐘楼ドームが、当時のまま保存されており、今も原爆のすさまじさを物語っている。写真は現在の浦上天主堂。

■長崎原爆資料館

再現された被爆直後の長崎のまちの惨状、原爆の傷跡が残った遺物の数々が、核兵器の脅威や戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを訴える。これら被爆資料や写真の展示をはじめ、原爆が投下されるに至った経過、核兵器開発の歴史、平和希求など、ストーリー性のある展示が特長。長崎市の原爆被爆50周年記念事業の一つとして、平成8年4月にこれまで被爆資料を展示していた長崎国際文化会館を建て替え、現在の長崎原爆資料館として開館した。

Peace volunteer Ikemi Naho

ピースフォーラム参加者へ「自分たちの世代が核兵器の恐ろしさを伝えていかなければ」

私が通う学校は被爆校で、200人以上の生徒が亡くなっています。生徒会の先輩の話がきっかけで、真相を知りたくてピースボランティアを始めました。被爆者の平均年齢が今年3月に初めて80歳を超えました。これから10年ぐらいでほとんどの方がいなくなります。ですから、私はピースフォーラムの参加者に「自分たちの世代が核兵器の恐ろしさを伝えていかなければならない」と伝えたいです。

長崎の原子爆弾より、これから使われる核兵器の方が、はるかに被害が大きい。核兵器を無くさなければならない。私がピースボランティアをしていられるのは、日本が平和だということです。この平和を引き継いでいくには、まず日本が平和であることを再確認。当たり前のことが当たり前でない、ことに気付くことが大事です。参加者にはピースフォーラムで学んだこと、感じたことを自分たちのまちで伝え、平和の輪を広げてほしい。

長崎ピースボランティア
池見菜穂さん (16)
被爆校に通う高校2年生。ボランティア1年目。

Peace volunteer Kinoshita Masato

祖父父母に生前、聞かなかった…。いつもどおりの明日が来るために、一人ひとりのつながり大切

全国の人に70年前のことを知ってほしい。私もピースボランティアになって、これまで長崎のことを知らなかったと実感しました。まずは、その地域での戦争があったことを学んでほしい。「いつもどおり明日が来るのが平和」。明日、原爆が落ちるとは夢にも思っていない。いつもどおりの明日を迎えるために、ピースフォーラムのような、一人ひとり、一つひとつのつながりが大事です。

私は被爆3世。人生から切り離せない。生前に祖父父母に戦争や被爆について、話を聞きませんでした。後悔しています。だからこそ、私は、体験者から実際に話を聞ける最後の世代であることを大切にしなければと考えています。中高生が一生懸命、ピースボランティアをしています。さらに若い世代へも平和への思いを引き継いでいってほしい。そして、全国に、世代を越えてつながりを持ってほしい。それが、大きく広がれば広がるだけ、平和への力になると確信しています。

長崎ピースボランティア
木下雅人さん (29)
被爆3世。社会人。今年、本町の引率を担当。ボランティア6年目。

茶 品評会

関西で7年ぶり奪還 かぶせ茶「産地賞」

玉露の部 下岡清富さん 農水大臣賞



張り詰めた雰囲気の中、選りすぐりの出品茶をチェックする審査員。関西茶品評会（岐阜県揖斐川町）

岐阜県揖斐川町で8月5日から7日にかけて開かれた第68回関西茶品評会で、宇治田原町が、かぶせ茶の部で7年ぶりの産地賞に輝きました。玉露の部では、下岡清富さんが農林水産大臣賞を受賞しました（喜びの声は来月号でお届けします）。7月7日、8日、宇治市であった第33回京都府茶品評会でも、本町から多数入賞。出品者をはじめ、茶摘みさんリーダーらの総力の存在感を示すことができました。入賞者は次の皆さん（敬

- ・玉露の部
 - 一等 農林水産大臣賞 下岡清富
 - 二等 賞 勝谷健士
 - 三等 奥谷輝夫
 - 産地賞 三等 森口雅至
 - かぶせ茶の部 一位 玉露の部 二位
- 京都府茶品評会
 - 玉露の部
 - 一等 下岡清富
 - 二等 並木泰義
 - 三等 並木秀樹
 - かぶせ茶の部
 - 一等 勝谷健士
 - 二等 下岡清富

称略。

関西茶品評会

10月からマイナンバーを1人ひとりにお届けします

マイナンバーキャラクター マイナちゃん

1人に1つ マイナンバー

図・囲戸籍・保険課 ☎88-6634

住民票の住所あてマイナンバー通知

10月、住民票のあるすべての方の住所あてに、マイナンバー（12桁の番号）が記載された通知が届きます。今のお住まいが、住民票と異なる場合は、住所変更の手続きをしてください。

通知カード

通知カードは大切に保管してください。個人番号カードを受け取る際、必要になります。

何らかの理由で住民票が住所地に移せない方は、次の理由で、住民票の住所にない方は、申請すると「通知カード」の届け先を変更できます。戸籍・保

険課にご相談ください。申請できる方
・DV、ストーカー行為、児童虐待等の被害者で、町外に移動されている方
・医療施設で長期間入院・入所し、住民票の住所に誰も住んでいない方
申請締切 9月25日（金）
※申請方法など詳細は、町HPをご覧ください。

希望者には「個人番号カード」
本人確認や様々なサービスに利用できる「個人番号カード」。申請すると、平成28年1月以降に取得できます。交付申請書は「通知カード」に同封されています。

個人番号カード

申請者へは、来年1月以降、戸籍・保険課窓口で、交付します。

今お持ちの住基カードは期限まで有効

今お持ちの住民基本台帳カードは、有効期限まで、そのままお使いになれます。期限前に「個人番号カード」の交付を受けると、お持ちの住基カードは廃止になります。住基カードの交付申請は12月28日で終了します。

JAバンク

あなたの街の近くで便利なJAです。

お問合せは近くのJA窓口または外部担当者へ
JA京都やましろ 宇治田原町支店 (0774) 88-2034

一緒にうれしい On Your Side

中央信用金庫

みなさまのすぐとなり
京都中央信用金庫があります。

宇治田原支店
宇治田原町後場東南250m
☎0774(88)4311
☎0774(88)4494

ながーい、おつきあい。

住宅ローン カードローン 事業融資 資産運用

京都銀行はさまざまなシーンで皆様を応援します！

飾らない銀行 宇治田原支店
京都銀行 TEL.0774(88)3737

10月スタート 小さな家電は大きな資源

小型家電リサイクル Q & A

貴重な資源をリサイクルしようと、来月から始まる「小型家電」の回収。多いご質問や間違えやすい点についてQ & Aでご紹介します。

圖建設・環境課 ☎88-6639

Q: なぜ小型家電を集めてリサイクルするの？
A: 資源の有効利用と環境汚染の防止、最終処分場の延命のためです。小型家電には、鉄やアルミ、銅、貴金属、レアメタルなど貴重な資源が含まれます。現在は、鉄など金属を除いて、その大半を埋立処分しています。

Q: どこで回収するの？
A: 役場、総合文化センター、宇治田原郵便局（湯屋谷）の3施設に回収ボックスを設置します。

Q: 回収対象となる小型家電は？
A: 40センチ×20センチの投入口に入る小型家電が対象です。
品目例 携帯電話、電話、パソコン、ラジオ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、HDDレコーダー、CDプレイヤー、電卓、電子体温計、ヘアドライヤー、電気カミソリ、懐中電灯、ゲーム機、カーナビ・カーステレオ、これらの付属品など

Q: テレビや冷蔵庫は回収できないの？
A: テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機の家電4品目は、これまでどおり、家電リサイクル制度による処理をしてください。

Q: パソコンも小型家電として回収してもらえるの？
A: パソコンは以前から、製造メーカーと一般社団法人パソコン3R推進協会が回収・リサイクルしています。10月以降もこのパソコンリサイクル制度は存続します。使用済みパソコンは、「小型家電リサイクル」か「パソコンリサイクル」、いずれかの方法で処理してください。ただし、「小型家電リサイクル」で回収するのはボックスの投入口（40センチ×20センチ）に入るものだけです。

Q: 回収されたものはどうなるの？
A: 国の認定事業者が、回収された小型家電を分離・破砕し、金属の種類ごとやプラスチックに選別。金属は製錬事業者が金属資源として再生します。この過程で有害物質の処理もします。皆さんから回収された小型家電は、リサイクルされ、再び製品になります。

わたしたちの
みらいのために
こたえてね

国勢調査

日本に住んでいる方すべてを対象とする、日本の未来をつくるための、国の最も重要な調査です。

今回から、インターネットでも回答できるようになりました。9月上旬から調査員がお伺いします。住民票の届出に関係なく10月1日現在、普段住んでいる場所で調査します。ご協力をお願いします。

個人情報は厳格に保護されます。
国勢調査員は、非常勤の公務員です。「調査員証」を身に付けています。
調査結果は、福祉、教育、雇用、防災、地域対策などに、日本の未来をつくるための資料となります。

① かなり調査に注意
国勢調査を装った「かたり調査」にご注意ください。不審と感じる電話や訪問があればご連絡ください。

② 国勢調査町実施本部事務局（企画・財政課内 ☎88-6632）

いつでもどこでも、便利に回答。パソコン、タブレット、スマートフォンでの回答が可能です。

インターネット回答は

● 回答期間
9月10日～20日

調査員がインターネット用IDを配布
9月10日～12日

インターネット回答がなかった世帯に調査員が調査票をお配りします。

調査票での回答は

● 回答期間
10月1日～7日

調査員が調査票を配布
9月26日～30日

第2分団選抜

がんばってます！ 消防団 拡大版

火点めがけ一直線

炎天下のグラウンドで綴喜消防操法大会

↑春から20回以上、仕事を終えてからの訓練を積んできた。選手以外にもホース巻きなどに多くの団員がサポート。
←ホースの投げ方を教える指導員。選手が走るときは横を一緒に走っていた。

井山大輔 後ろに並ぶ本町消防団員らが選手にエールを送っていた。

上辻久光 藤田治之 光島等

大嶋宏明 西川泰紀
南支部

大谷英明 上野翔三

住民グラウンドで7月26日、第23回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会が行われました。宇治田原町消防団（今西晋作団長）からは、第1分団第1部（南支部・堀口茂樹部長）と第2分団選抜が出場。春からの訓練の成果を披露しました。この大会は、団員の消防技術の向上と士気高揚を図るため、2年に1回開催。小型ポンプを使用し、火点へ向けて実際に放水。スピードと正確性、安全性を競い合います。

綴喜4市町の消防団から、7チームがエントリー。炎天下のグラウンドで、熱戦を繰り広げました。

優勝は八幡市消防団の手に。本町消防団は、入賞は逃したものの、選手は大会まで、多くの団員や家族のサポートを受けて、連日連夜、砂まみれになって訓練を重ねてきました。流してきた汗、支えてくれた人への感謝。これらの分だけ、メンバーを成長させ、団の結束を強めました。

出場選手は次の皆さん（敬称略）

▼南支部
▽指揮者 大谷英明▽1番員 上野翔三▽2番員 西川泰紀▽3番員 大嶋宏明▽補助員 谷口重幸

▼第2分団選抜
▽指揮者 井山大輔（郷之口）▽1番員 上辻久光（岩山）▽2番員 光島等（荒木・高尾）▽3番員 藤田治之（禪定寺）▽補助員 畑明宏（緑苑坂）

ビジネスからパーソナルまで

90年の歴史の中で培った経験やノウハウと、最新のデジタル技術と設備を駆使してお客様のニーズにお応えします。
本社設備による一貫生産だから中間マージンゼロ、安くても早い。

新しいこと 進んで やる

SINCE 1914

Shin Shin-DO 有限会社 新進堂印刷所
〒611-0021 宇治市宇治妙楽9（あがた通り）
TEL. (0774) 22-3024
FAX. (0774) 23-0649

自由設計リフォーム Refine

あなたの街のパナソニックのリファインショップ、リファイン京田辺は、リフォーム・増築・改築・改装・新築を通して、生涯「げんき」をサポートする健康長寿の住まいをつくる専門店です。耐震改修工事もお任せください。◆アルス耐震改修専門店

リファイン京田辺 検索

Refine 京田辺
京田辺市三山木西荒木6
通話料無料 0120-806-200

18歳未満の子どもさんのいるご家庭には、プレミアムカードを役場福祉課へお申し出ください。

The 700 U.P. PREMIUM

地域のみならずといっしょに、この町の人々を応援します。

U.P. Premium 宇治田原町商業振興協同組合

まちかどほっとナウ

Ujitawara Town Topics

少女 宇治田原ビューティーズ 全国で念願の初勝利

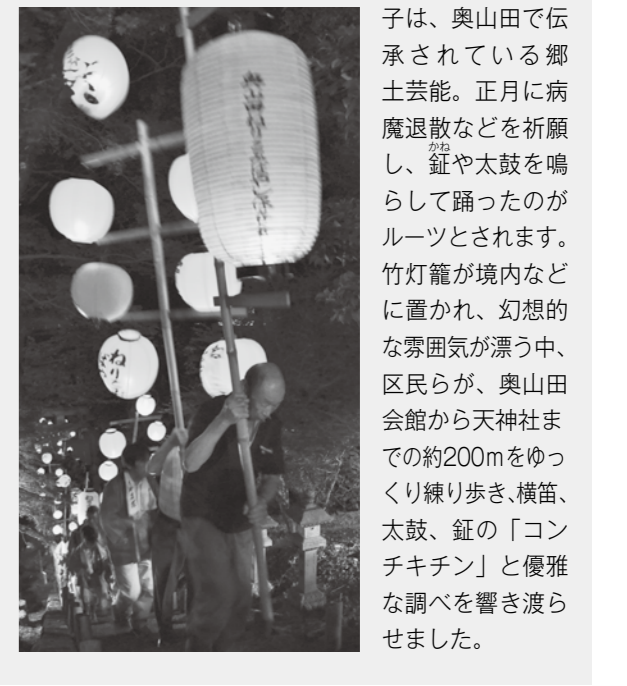
富山県で行われた全国少女ソフトボール大会に京都府代表として出場した宇治田原ビューティーズが、念願の初戦突破を果たしました。第34回京都府小学生春季ソフトボール大会の決勝で、11年間無敗を誇ったホワイトビッキーズ(京都市)を下して、掴んだ全国大会の切符。勢いそのままに、1回戦で八郎潟町スポーツ少年団を7対3で破り、全国の舞台で初勝利。続く2回戦では、佐世保99ersに5対6で惜敗。目標のワンランク上まで、あと一歩のところまで迫りました。



「7月15日に後援を訪ねた選手ら、初戦突破をめざします。目標を語ってくれた。」

「コンチキチン」と優雅な調べ 奥山田 練りこみ囃子

五穀豊穡や家内安全を願う区民らが、「ねりこみ囃子」を奏でながら天神社に奉納しました。ねりこみ囃子は、奥山田で伝承されている郷土芸能。正月に病魔退散などを祈願し、鉦や太鼓を鳴らして踊ったのがルーツとされます。竹灯笼が境内などに置かれ、幻想的な雰囲気漂う中、区民らが、奥山田区館から天神社までの約200mをゆっくり練り歩き、横笛、太鼓、鉦の「コンチキチン」と優雅な調べを響き渡らせた。



お知らせ

新築・増築家屋の評価に伺います

新築・増築家屋に対する固定資産税の算定のための「家屋評価」に職員(身分証を携帯)がお伺いします。平成27年中に評価の対象となる家屋(離れ・倉庫・車庫を含む)を新築・増築された方には、訪問日時を書いた案内をお送りします。場合によっては建築資料を借用することがあります。ご協力をお願いします。

■ 国税務・会計課 ☎88-6633

40歳以上「国保の特定健診」期限は今月末

国民健康保険に継続してご加入の40歳以上の方に、6月末に特定健康診査の受診券(もえぎ色)を郵送しました。受診期限は今月末。ご自身の健康管理のために、

75歳以上の方の健診 今月末までに受診を

後期高齢者医療制度にご加入の75歳以上の方の健診は、今月末までです。お済みでない方は事前申込み(電話可)後、配布された受診票と後期高齢者医療被保険者証を持って、医療機関でお早めに受診ください。

敬老祝い

長年地域に貢献された高齢者に敬意を表し、長寿を祝して、町商工会発行商品券をお贈りします。対象者には、民生委員さんを通じて9月中旬に配布します。

■ 対象 今年数え年で白寿、米寿、喜寿を迎える方で、

剪定枝チップの無料配布 (地域住民向け)

対象 組合管内在勤・在住者 期間 9月7日(月)～11日(金) 午前9時～午後4時(正午～午後1時除く) 場所 ①旧奥山リユースセンター(城陽市寺田奥山1-61・☎52-3581) ②クリンピア沢(八幡市八幡1-☎075-631-0835) 注意 持帰り用の袋や容器、スコップは各自で用意。大口利用は「事業者向け」配布時へ。転売禁止

田原祭「王ノ舞」展

平安時代に起源を持つと言われる田原祭。その舞物は、昭和63年4月に京都府無形文化財に登録されています。舞物の一つ「王ノ舞」で使われる「張貫烏帽子(ちようかんえぼし)」がこのほど、京都府と町の補助金を活用して艶やかに修復されました。



王ノ舞で使われる烏帽子。15ある宮座(おのはなご)に属する男子のみが王ノ舞を披露できる。

給水装置工事業者の指定取り消し

安全で快適な生活と、川や湖、海の水質汚濁防止に重要な役割を果たしている下水道。下水道が使用できる区域の方で、排水工事を行っていない方は、下水道を有効に機能させるため、

子育て支援医療 今月から新受給者証で受診

「子育て支援医療」の新しい受給者証を8月下旬にお送りしました。9月1日以降はこの新しい受給者証をお使いください。有効期限が、古いものとは異なりますので、ご注意ください。以前に使用していた受給者証は、役場に返却するか、ご自宅で廃断し処分してください。9月以降も、これまでどおり、中学卒業まで200

臨時福祉給付金と「子育て世帯臨時特例給付金」

9月1日から申請を受け付けます。対象と思われる方には、申請書をお送りしました。また、申請書が送付されていない方で給付金の対象になると思われる場合は、お問い合わせください。10月から順次、支給を予定しています。

■ 対象 平成27年度の住民税(均等割)が非課税の方

臨時福祉給付金と「子育て世帯臨時特例給付金」

9月1日現在で引き続き3年以上小町内に在住する方

- ①白寿30,000円
- ②米寿20,000円
- ③喜寿10,000円

■ 敬老会 今年11月1日(日)に開催します。対象となる70歳以上の方には、10月上旬にご案内します。

まちかどほっとナウ

Ujitawara Town Topics

子どもも野菜でヒツジづくりに挑戦 湯屋谷 灯籠張り

湯屋谷地域に古くから伝わる地蔵盆の行事、灯籠張りが営まれました。塩谷、中谷、西谷、石詰の4つの地域ごとの当屋に集い、灯籠の木枠に和紙を貼り、野菜で作った今年の干支(ヒツジ)を飾り付けました。湯屋谷会館では、子ども灯籠作りがあり、参加した子どもらは、和紙に好きなアニメキャラを描いたあと、家から持ち寄った夏野菜でヒツジの出来栄を競いました。浅田真実さん(11)は、「頭がよくなるようお願いしました」と話しました。完成した灯籠は、無病息災と豊作を願い、区内のお寺に奉納されました。



湯屋谷訪ねる観光客が気持ちよく 玄関口に彩り添える花

湯屋谷地域の玄関口で色とりどりの花が迎えています。今の季節、ペゴニアやガザニア、ペクニオなどが咲き誇り、会館前の通り沿いに彩りを添えています。山城地域のお茶文化が日本遺産に認定され、「永谷宗円生家」への注目が高まり、訪れる観光客が増加しています。同地域では、十数年前から観光客らに、日本緑茶のふるさとを気持ちよく訪ねてもらおうと始めました。今も湯屋谷区民が、季節ごとに花を植え替え、世話をしています。



図書館だより

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

町内全域で 秋のクリーンキャンペーン

9月20日(日) 午前8時30分～(小雨決行)

※禅定寺・南・郷之口＝午前8時～ / 銘城台＝午前9時～
若山＝午前9時30分～
奥山田＝9月23日(水・祝) 午前8時30分～

和い輪いまちづくり宇治田原町 推進協議会(会長＝西谷信夫町長)では、町内全域で「秋のクリーンキャンペーン」を行います。皆さんのご協力をお願いします。

- 参加方法 地区ごとに集し指定の範囲を美化活動
- 集合場所 各地区公民館・自治会館

Close up

クロースアップ

この夏、全国や近畿の舞台で輝いた 2人のアスリート

夏

の甲子園に鳥羽高ナインとして出場した中嶋滉平くん（維孝館中学校出身）。予選の京都大会では、4割7分6厘の高打率を記録。もともと得意だったというセカンドの守備でも、チームを盛り立て、鳥羽高を15年ぶり6回目の甲子園出場に導きました。鳥羽高の前身「京都二中」が優勝した第1回大会から100年目となる、第97回「全国高等学校野球選手権大会」。その流れをくみ鳥羽高は、初戦の岡山学芸館戦を7対1で勝利。中嶋君は1点差の6回裏、貴重なタイムリーを打ち、勝利を引き寄せました。2回戦では、津商（三重）と対戦。「緊

張で自分たちの野球ができなかった初戦とは違い、2回戦は『守備からリズムをつくる』試合運びができた」と話す中嶋くん。自身もファインプレーを連発、チームもノーエラーで鉄壁の守備。鳥羽高らしい野球で、4対2と競り勝ちました。続く3回戦、興南（沖縄）に先制を許すも、逆転し6回までリード。このあと逆転され3対4で惜敗したものの、シーズンゲームを展開。京都大会をノーシードで勝ち上がった初代覇者が、甲子園を沸かせました。

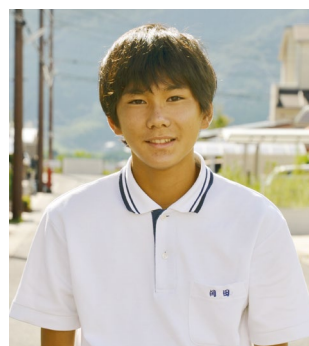


Nakajima Kouhei

鳥羽高校3年。維孝館中学校出身。キュービーズ（現オール宇治田原BB）～木津川シニア。

中嶋くんは「後半戦が勝負だと思っていた興南戦で最後に逆転されたのは悔しいが、甲子園で一つひとつ成長できたと思います」と振り返りました。「車で送迎してくれたおじいちゃん、温かく見守ってくれたおばあちゃん、家族、友達、住民の皆さんに感謝しています」と語りました。

野球をする子どもたちへ「甲子園では今までにない経験ができた。野球をやるからには甲子園を目指してがんばってほしい」とエールを送りました。



Okada Masayuki

維孝館中学校3年。家族が陸上をしていたのがきっかけで陸上部に入り、走り高跳びを始めた。



●近畿大会出場の小さなハイジャンパー

岡田雅之くん（緑苑坂）

「いずれ世界を舞台に戦える選手になりたい」

孝館中学校3年の岡田雅之くんは走り高跳びで、京都府大会で自己ベスト1.82mを記録し、第64回近畿中学校総合体育大会に出場しました。高身長の手が有利と言われる高跳びで、岡田くん

は1.62mと決して高くありません。さらに驚くことに競技を始めてわずか2年余り。今後のさらなる活躍が期待されます。昨年の夏からバネを活かしたジャンプができるようになったという岡田くん。それまで1.50mがやっとだったジャンプが、1.60mを跳べるように。踏み切るタイミングが合つてくると、今春には1.70mを記録するまでになりました。6月6日に開催された綴喜大会では1.74mで優勝。この後、山城大会では1.75m、全日本通信陸上京都大会で1.79mと大会ごとに自己ベストを更新していきます。京都府大会で1.82mのハイジャンプを披露し、近畿大会への切符を手にしました。

維

岡田くんは、「練習すればもっと高く跳べるようになると思う。高校に行っても高跳びを続けたい。いずれ世界を舞台に戦える選手になりたい」と目を輝かせました。

くどうてん

広島平和体験学習や長崎市ピースフォーラムで毎年、広島と長崎を訪れます。平和担当になって6年目。私が1年目に一緒に広島へ行った小学生は今、高校生になり、長崎へ行った中学生は今年度、成人式を迎えます。

この6年で、被爆地で語られる被爆講話も明らかに変わってきました。日本から、そして世界から、原子爆弾による被爆者がいなくなる、そのときを意識した内容になっています。

戦後70年という節目、6年という年月。この重要なターニングポイントに、平和のバトンを託し、託されることの意義の大きさは計り知れないと思います。（K）

元気のヒケツ。



西出 君代さん（84歳）

家庭菜園で野菜を育てたり、お友達とおしゃべりしたりすることです。

わが家のアイドル。



西尾 音彩ちゃん（6歳）

高山美乃里ちゃん（2歳9か月）
仲良し従姉妹♪ケンカもするけどやっぱり仲良し詰（´▽`）



奥谷 莉子ちゃん（1歳）

踊るのが大好きな莉子ちゃん。いつもステキな笑顔をありがとう♡



橋本 力弥ちゃん（6歳）

おちゃめでひょうきん わんぱく力弥♡
来年はピカピカ一年生

元気のヒケツに登場する80歳以上の方を募集中 「写真」に、「氏名（ふりがな）」、「年齢」、「元気の秘訣（50文字以内）」、「電話番号」を添えて、郵便またはEメールでお送りください。ご希望があれば、広報担当者が写真撮影に伺います。

わが家のアイドルに掲載する乳幼児を募集中 写真と、子どもの「氏名（ふりがな）」・「年齢（〇歳〇か月）」・「メッセージ（25字以内）」をお送りください。

■投稿先 総務課広報（☎88-6631） 〒610-0289（住所記入不要） Eメール info@town.ujitawara.kyoto.jp